

DXF読み込みについて

図面情報設定

作成する図面についての情報

領域サイズ: 900.0000 mm

基板原点 X: 100.0000 mm

Y: 100.0000 mm

タイトル:

作成者:

コメント:

テンプレート (環境設定の雛形)

テンプレートを読み込む

EXCELLON
GBR
SAMPLE2 片面サンプルデータ
TEMPLATE

プロジェクトパス

C:¥Artwin¥Layout¥

OK
キャンセル
マニュアル参照

ポイント 1

作成図面領域を 900mm にしておきます。

基板読み込み原点を X100 Y100 にしておきます。

DXF には、予想外の領域にデータが置かれる場合と

マイナス座標があることを前提に領域設定を行っておきます。

テンプレートは、オリジナルテンプレートを事前に作成しておくことも可能です。

DXF入力情報設定

入力画層設定

画層名	色番号	入力レイヤ
L100	全色	200
L700	全色	199
L900	全色	198
L800	全色	197
L1100	全色	196
L1000	全色	195
L1300	全色	194
L1200	全色	193
L300	全色	192
L200	全色	191
L400	全色	190

設定変更

画層名 全画層

色番号 全色

入力レイヤ 200

追加
削除

自動レイヤ割当 下へ 上へ utf8

DXFファイル内画層名入力...

アートワーク領域の自動補正

倍率 1.000000

OK
キャンセル
マニュアル参照

ポイント 2

DXF ファイル内画層名入力を指定する前に

自動レイヤ割当を指定しましょう

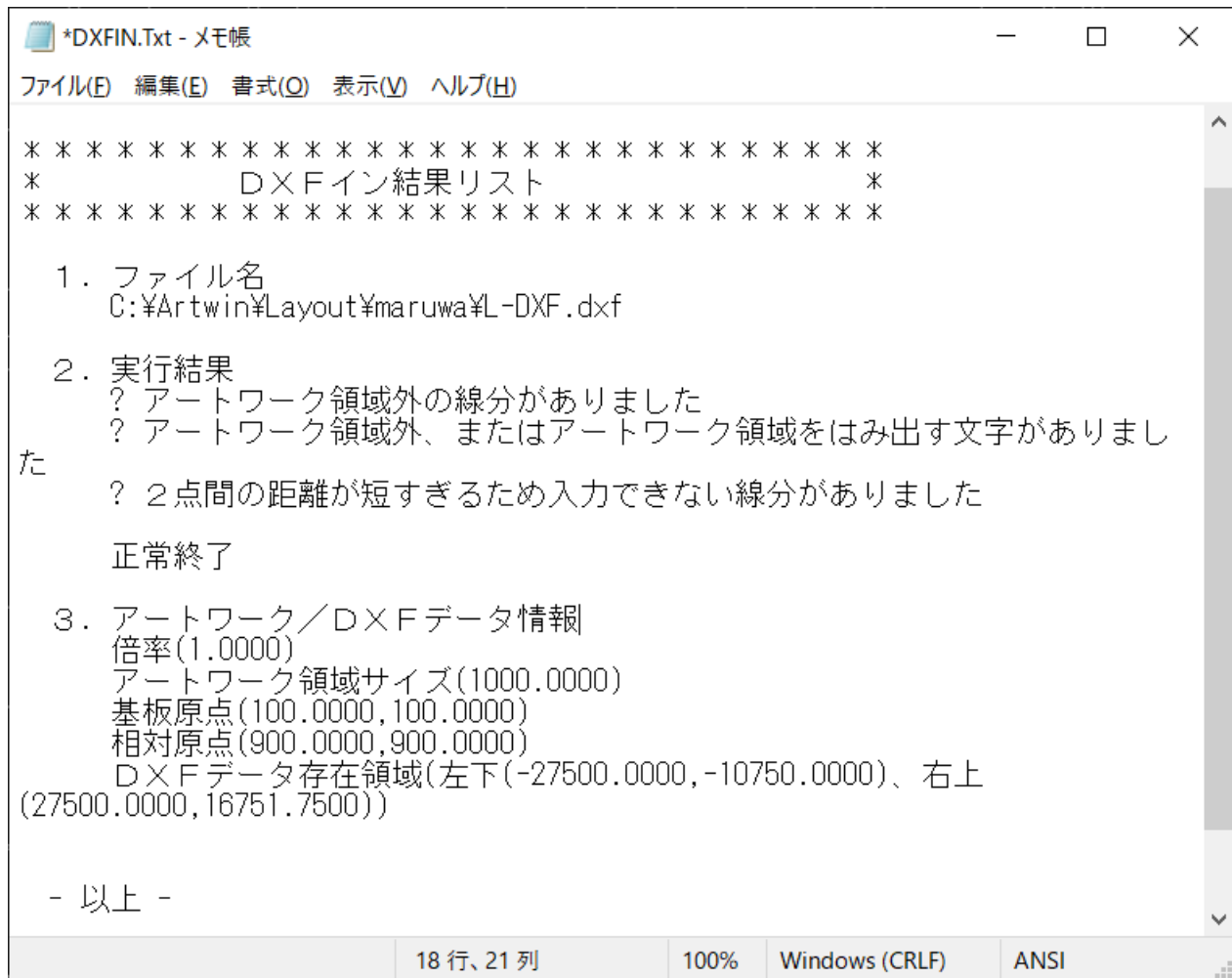
自動でレイヤを振り分けます。

文字化けが起こる場合は、UTF8 にチェックを入れます。

DXF ファイルを読み込んでみましょう

巨大な DXF を読んだ場合

DXF のレポートを見てみましょう



2. 実行結果

? アートワーク領域外の線分がありました

? アートワーク領域外、またはアートワーク領域をはみ出す文字がありました

? 2点間の距離が短すぎるため入力できない線分がありました

3. アートワーク/DXFデータ情報

倍率(1.0000)

アートワーク領域サイズ(1000.0000)

基板原点(100.0000,100.0000)

相対原点(900.0000,900.0000)

DXFデータ存在領域(左下(-27500.0000,-10750.0000)、右上(27500.0000,16751.7500))

上記内容から、巨大なデータがあることが判明します。

領域としては、

画面左下 マイナス 27,500mm マイナス 10,750mm 座標から

画面右上 プラス 27,500mm プラス 16,751.75mm 座標までの領域となると

通常は、読み不可となります。

巨大な DXF を読み込む場合

DXF入力情報設定

入力画層設定

画層名	色番号	入力レイヤ
L1D0	全色	200
L7D0	全色	200
L9D0	全色	200
L8D0	全色	200
L11D0	全色	200
L10D0	全色	200
L13D0	全色	200
L12D0	全色	200
L3D0	全色	200
L2D0	全色	200
L4D0	全色	200

設定変更

画層名 全画層 色番号 入力レイヤ

自動レイアウト 下へ 上へ utf8

アートワーク領域の自動補正

倍率

ポイント 3

DXF イン結果レポートを見て
倍率を変更しましょう。

アートワーク領域の自動補正で表示
される場合もありますので試してみ
ましょう。

再度読み込んで見ましょう